

大橋川改修事業 環境調査 最終とりまとめ

中海・宍道湖は大橋川により繋がれた連結汽水湖であり、大橋川は両湖の汽水環境に大きな影響を与えています。そのため、大橋川改修事業が中海・宍道湖を含む汽水域の環境に与える影響について調査・予測・評価を行い、環境の保全に関する事業者の考え方をとりまとめました。

環境調査の位置づけ

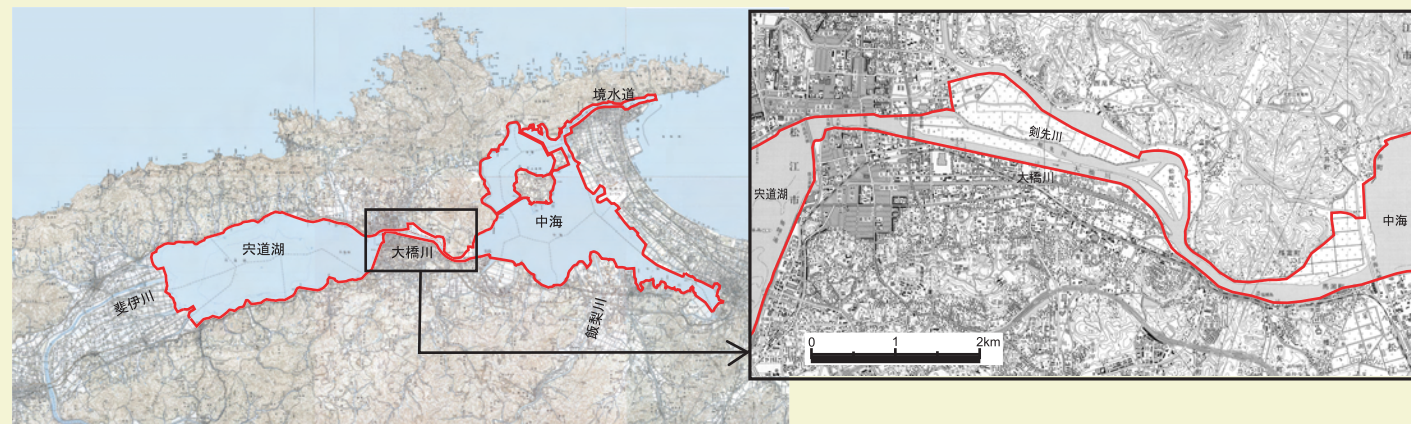
大橋川改修事業環境調査は「大橋川改修の具体的内容」を前提とし、「環境影響評価法」の手続きを参考に、「大橋川改修に関する環境検討委員会」の助言や鳥取・島根両県及び住民の方々のご意見を伺い実施しました。

大橋川改修事業は、「大橋川改修事業環境調査最終とりまとめ」の内容を反映させ、環境に配慮した大橋川改修計画の作成や工事実施のためのモニタリングなど必要な対策を行いながら進めていきます。

環境調査の範囲

環境調査の範囲は、大橋川の河床掘削、河道拡幅、及び流動変化により影響を受ける可能性のある範囲（宍道湖、大橋川、中海、境水道）としました。

また、流動変化などを予測するため、気象・水象調査は斐伊川流域全体を調査の範囲としました。



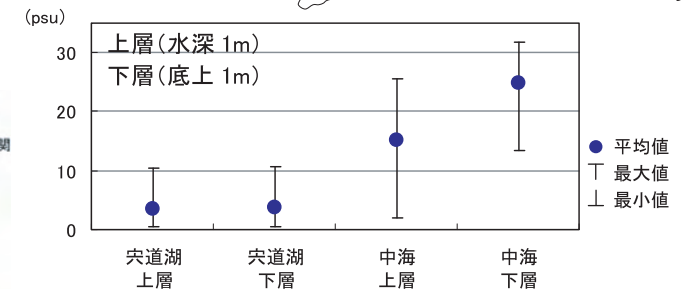
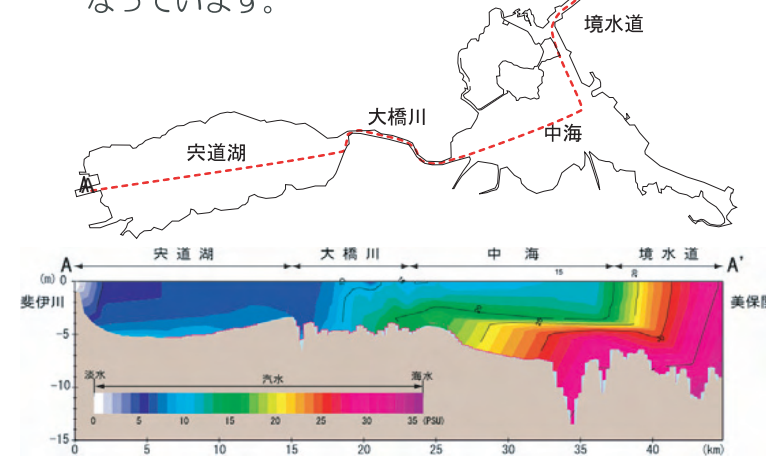
※この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図及び5万分の1地形図を複製したものである。（承認番号 平20 中複 第71号 及び 平20 中複 第70号）

水環境

塩分

● 宍道湖と中海は大橋川を挟んで塩分が異なっています。

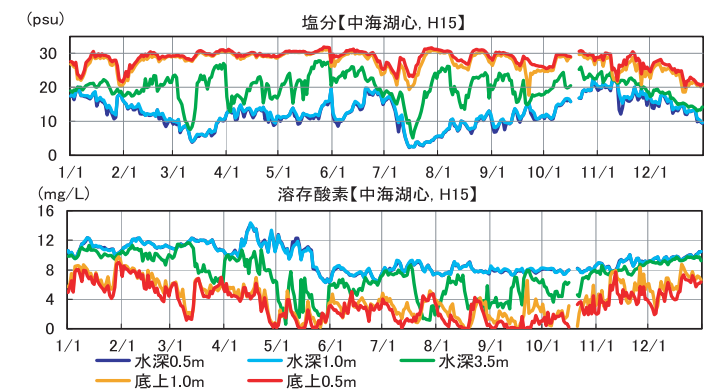
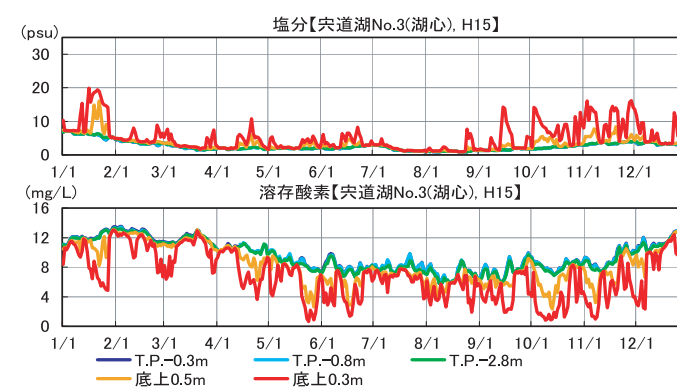
● 宍道湖から中海の塩分は、流れ込む河川の流量に影響され、大きく変動します。



H12.9/30 観測データ（宍道湖 No.3(湖心) 観測所・中海湖心 観測所・船舶からの採水調査等）より作成

注) H1~H18 までの各層の月平均値をもとに 18ヶ年の平均値・最大値・最小値を表示した。

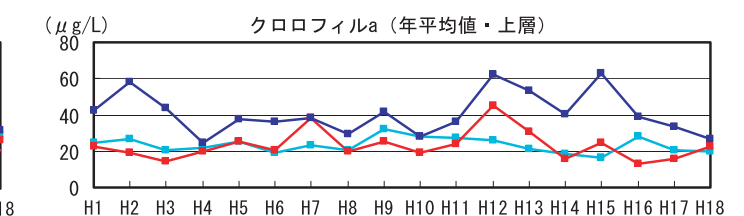
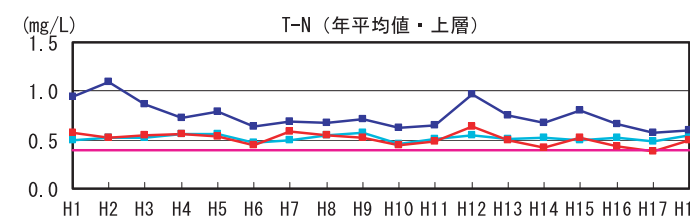
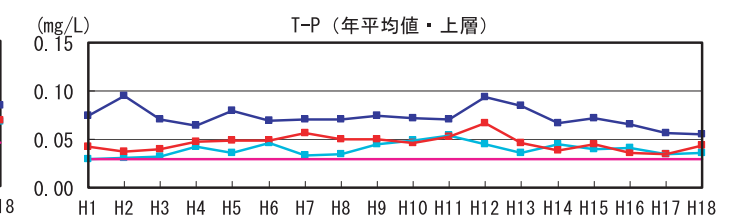
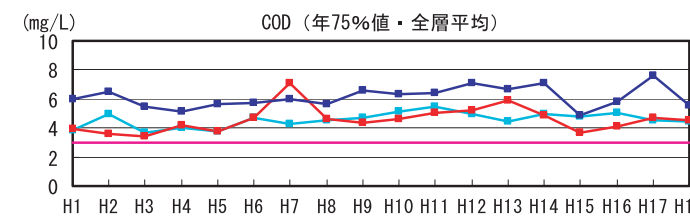
- 宍道湖の塩分層は、湖底に薄く形成され不安定ですが、中海の塩分層は、年間を通じて安定的に形成されます。
- 塩分層の形成と底層の貧酸素化は連動する傾向がみられます。



注) psu とは塩分を表す単位であり、「海水 1kg 中に含まれる塩類のグラム数」に相当します。

富栄養化項目

- 各項目とも水質は環境基準を超え概ね横ばいで推移し、近年大きな変化はみられません。



環境基準 宍道湖No.3(湖心) 中海湖心 米子湾中央